

ジェレミー・カルトレはブルゴーニュ出身の醸造家だ。彼の父ドミニク・カルトレはブルゴーニュの生産者の元で長年栽培に従事しており、ジェレミーにとってワインを作る人々は遠い存在ではなかった。2011～2013年にモンペリエで栽培・醸造学を修め、ワイナリーで研修をし、その後9年間にわたりバンジャマン・ルルーのドメーヌで経験を積む。2019年からは自身のワインをルルーのセラーで実験的に仕込み始め、2022年にドメーヌ「ア・フルール・ド・ポー」を設立した。自社畑1.5haのほか、オート・コート・ド・ボヌヤやボジョレーのブドウを加え、年産約12,000本を生産する（2023VT）。畑はバイオリック栽培で管理し、仕立てや耕作方法にも試験的要素を取り入れ、温暖化に対応し、エレガントで瑞々しいワインを造り続ける方法を探ることが目下の課題。白は足踏み破碎後、垂直式プレスで圧搾し、自然酵母で発酵、古樽やアンフォラで9か月熟成。赤は全房発酵を基本とし、ピエ・ド・キューヴで発酵を開始し、畑の格に応じ樽を選ぶ。伝統に支えられつつも柔軟な感性で、ブルゴーニュの新たな輪郭を描こうとしている。

	○Bourgogne Hautes Côtes de Beaune Blanc - Euphoria ブルゴーニュ・オート・コート・ド・ボヌ・ブラン ユーフォリア				備考	バイオリック栽培（認証なし）の買いブドウ。ブルゴーニュでは珍しい2mの高さに仕立てられた、オート・コート・ド・ボヌの畑のシャルドネを使用。
	畑	品種：シャルドネ 植樹：2015-2016年 位置：南東向き 土壌：粘土・石灰質	醸造	足踏みで破碎 垂直プレスでプレス ブルゴーニュ樽（新樽比率0%）と600Lのアンフォラで9か月間熟成		
	○Bourgogne Aligoté Doré ブルゴーニュ・アリゴテ・ドレ				備考	ジェレミーが借りている、村名格ではないボマール村の区画：Les Grandes Carelles レ・グランド・キャレル内、ゴブレ仕立てのアリゴテの古樹。
	畑	品種：アリゴテ・ドレ 植樹：1937年 位置：南東向き 土壌：粘土・石灰質	醸造	熟度に応じて3回に分けて収穫 足踏みで破碎し垂直式プレスでプレス ブルゴーニュ樽（新樽比率33%未満）で9か月間シュール・リー熟成		
	●VdF Rouge - Flower Power ルージュ フラワー・パワー				備考	ボジョレーのガメとオート・コート・ド・ボヌのピノ・ノワールの買いブドウのブレンド。
	畑	品種：ガメ60%、ピノ・ノワール40%	醸造	全房比率100% 自然酵母（スターターを準備）で醗酵 垂直プレスでプレス ブルゴーニュ樽（新樽比率50%未満）で9か月間熟成		

	●Bourgogne Hautes Côtes de Beaune Rouge - Euphoria ブルゴーニュ・オート・コート・ド・ボヌ・ルージュ ユーフォリア			備考	バイロジック栽培（認証なし）の買いブドウ。ブルゴーニュでは珍しい2mの高さに仕立てられた、オート・コート・ド・ボヌの畑のシャルドネを使用。
	畑	品種：ピノ・ノワール 植樹：2015-2016年 位置：南東向き 土壌：粘土・石灰質	醸造		
	●Bourgogne Rouge - Les Grandes Cavelles ブルゴーニュ・ルージュ レ・グランド・キャレル			備考	ジェレミーが借りている、村名格ではないボマール村の区画：Les Grandes Cavelles レ・グランド・キャレル、ゴブレ仕立てのピノ・ノワールの古樹。
	畑	品種：ピノ・ノワール 植樹：1937年 位置：南東向き 土壌：粘土・石灰質	醸造		
	●Bourgogne Rouge - Les Nazarettes ブルゴーニュ・ルージュ レ・ナザレット			備考	ジェレミーが借りている、村名格ではないボマール村の区画：レ・ナザレット、ゴブレ仕立てのピノ・ノワールの古樹。
	畑	品種：ピノ・ノワール 植樹：1939年 位置：南東向き 土壌：粘土・石灰質	醸造		